

春です。あなたも東京港野鳥公園に遊びにきませんか。

東京港野鳥公園では、毎月第2日曜日の午後、定例観覧会「潮入りぐるっと観覧会」を実施しています。

ネイチャーセンター前に広がる「潮入りの池」の周囲は、鳥たちのための立入禁止エリアですが、月に一度、2時間半だけ観覧のために入ることができます。あなたも、レンジャーやボランティアと一緒に、鳥、花、草、木、虫、磯の生き物などを通して、季節の変化を味わってみませんか。事前申し込みは不要です。第2日曜日の午後1時にネイチャーセンターへご集合下さい。

■春は渡りの季節

野鳥公園でシギやチドリの仲間を観察しよう！

春は渡りの季節！野鳥公園で渡りの途中のシギやチドリの仲間を観察してみませんか。

潮がひいて干潟が現れると、鳥たちが降りたち、ゴカイなどのエサを探すが観察できます。ピークは例年4月下旬から5月の中旬頃。ネイチャーセンターには観覧に必要な望遠鏡も完備しています。(都立東京港野鳥公園 レンジャー 新野)



なお入園料が、4月から小学生と65才以上の方に加え都内の中学生も無料となります。東海3-1(TEL 3799-5031)

犬・猫の譲渡について

飼育希望者には、譲渡前・譲渡時講習会を受講していただいて譲渡しています。

世間では、犬や猫をいったん飼ってはみたものの、途中でなげだす方も後を絶ちません。飼う前によく考えることが必要です。そのためまず、自分は動物を飼う心構えができているか、「模範的な飼い主」になれるかどうか考えていただくための、「事前講習会」を実施しています(毎週水曜日、午後1時半～3時)。飼うための条件や飼い主のモラル・遵守事項等についてお話しします。内容を理解、納得された方は、再度来所していただき、ここで初めて動物を選んでいただきます(猫は当日で可)。同時に行う「譲渡時講習会」では飼い主の義務、実際の飼育方法、しつけなど適正飼育のための具体的な内容について講習・指導します。特に犬のしつけに関しては、別途「しつけ教室」を毎月第2・4金曜日に行い実習をしています。譲渡の詳細については、お気軽に電話でお問い合わせください。



城南島3-2-1(TEL 3790-0862)

城南島海浜公園の水際線整備工事

第9号では、当園の新施設オートキャンプ場についてお伝えしました。

オープン以来9か月が経ちましたが、利用状況はお陰様で週末・祝・祭日を中心に大変な賑わいを呈しています。(延利用者数約5,800人) 加えてゴールデンウィーク時の予約についてもほぼ満員の状況です。

さて、今回は視点を変えて、現在も続けられている園内工事についてご報告します。

皆様のなかで、当園が未完成であることをご承知の方は、それほど多くないと思います。平成3年7月6日にオープンして以来、①一般公園の拡張工事、②オートキャンプ場の建設工事、③水際線の整備工事と、3件の工事が行われてきました。

平成10年2月末現在、①②の工事については既に終了し、③の水際線の整備工事が急ピッチで進められています。

羽田空港寄りの水際線については、最終的には人工海浜となる予定ですが、現在はその前段階として、ボードウォークやベンチ等を整備しています。もう間もなく完成する予定です。(人工海浜は、平成15年に完成予定。)

春の陽気に誘われて、羽田沖の海を眺めながら、のんびり日光浴は如何ですか？

■城南島海浜公園キャンプ場の概要／キャンプ場面積：1.2ヘクタール

全国のどなたにもご利用いただけるキャンプ場です。(但し、16歳未満の方だけの利用はできません。)

テントでの宿泊やキャンプファイヤー、日帰りバーベキューもお楽しみ頂けます。

〔利用方法〕

事前に電話または管理事務所窓口でご予約してください。

〔休場日〕

12月29日～1月3日、毎週水曜日。(夏休み及び春休み期間は除く)

但し、水曜日が祝日または都民の日にあたる場合は、翌日となります。

〔燃料の販売〕

売店で販売しておりますので、ご利用ください。

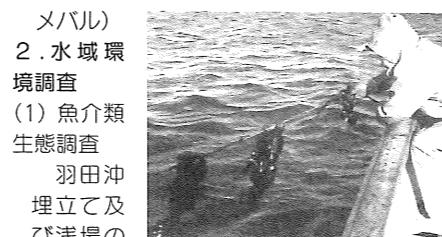
城南島4-2-2(TEL 3799-6402)

(財)埠頭公社建設発生生土管理事務所での魚介類調査

都は、羽田空港沖合展開の埋立造成事業実施に伴い、自然環境の回復と水生生物が育成しやすい場の提供を目的として、埋立地の前面に浅場を造成しています。

その浅場を良好に維持するために、当所では次の維持管理・調査を行っています。

- 1.維持管理事業
(1)多摩川河口水域で耕うん(腰巻き籠)を行い海底土壌の活性化
(2)藻場(ワカメ)を設置し育成状況の観察
(3)稚貝、稚魚の放流(アサリ、ハマグリ、



メバル)
2.水域環境調査
(1)魚介類生態調査
羽田沖埋立て及び浅場の造成が、周辺漁場に生息する魚介類等に与える影響を把握するため試験漁獲を行って、海域に生息、回遊する魚等の現況を調査する。

試験漁獲の方法 アナゴと、延縄、三枚網、桁網

(2)海底等実態調査

魚貝では、そこに生息する生物が必ず漁獲出来るとは限らず、また水中での群れの状況、競合関係等も不明であるので、潜水による観察調査をする。

(3)魚介類の定着状況調査

藻場(ワカメ)の設置に伴う付近の水生生物の付着、集合状況の調査をする。

(4)魚介類の育成状況調査

(5)水質・底質土調査
魚介類等の生息に重要な溶存酸素等の周年変化を把握するための調査をする。

城南島1-3(TEL 3790-2471)

大田市場見学について

今回は、大田市場の見学者について書いてみたいと思います。

平成9年は45,631人の方々が大田市場を見学・視察されました。小学生の見学者が11,700人、生産者・消費者・その他一般の方々の見学者が30,708人、外国からの見学者が3,223人でした。

外国からの見学者の国名を見ると中国、韓国、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリア、イタリア、タイ、メキシコ、ペルー、アルゼンチン、ケニア、パラグアイ等32か国から見学、視察に來られ国際色豊かでした。

当市場には、見学者のためのAVルーム、展示室等があり、市場の歴史、市場の役割、生鮮食品流通の仕組み・現状等を分かりやすく紹介しており、見学者に好評を博しております。



見学者の方々が単独でも全施設を見学できるようコースの案内表示が整備されております。また見学者用のパンフレットも小学生向け、一般向け、外国の方々向けに豊富に揃えております。是非、一度見学に來られてはと思います。

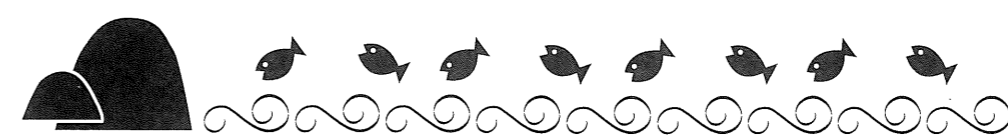
東海3-2-1(TEL 3790-8301)

『公共施設案内について』

城南島地域にある公共施設をより知っていただくため、いろいろな角度からの紹介記事を継続して掲載していきます。(地図は8号を参照してください。)

※この用紙は再生紙を使用しています。

城南島タイムズ



“城南島で動いている都の事業(公共施設)”

東京港臨海道路の立孔施設

東京港沖合埋立整備事務所 (TEL.5500-2495)

東京港臨海道路は、平成13年度末供用開始を目前に整備を進めており、そのペースは順調で当初計画を2~3か月分早めたものになっています。

さて、11基製作された沈埋函は、曳航・据付けのため機装工事も完了し、このタイムズがお手元に配付されるころには、ドライツク内への注水も終わり、高さ10mの函が僅か20cm程度頭を出して浮かんでいることと思います。

一方、換気用立坑(図参照)は、地上遠隔操作による無人掘削で鋼殻ケーソンを沈設し、高さ32m(地下26m・地上6m)のコンクリート製の断面が完成されています。なお、基礎部は、過年度に打設した直径1500mmの杭121本と固定されています。

下水道あれこれ 『中継ポンプ所』の巻

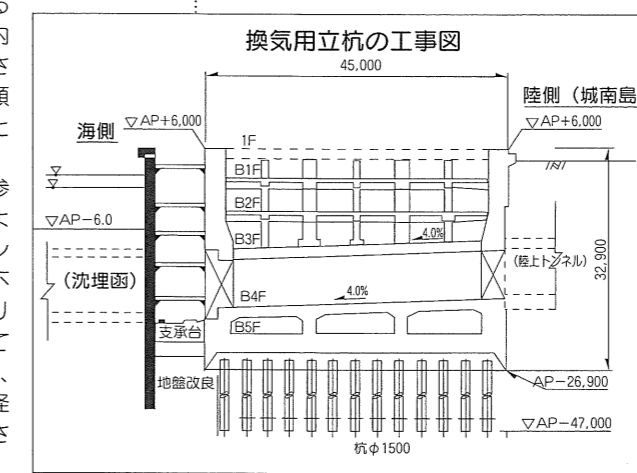
皆様のご家庭や会社から出される下水はどのようにして運ばれるのでしょうか。

「自然流下」で処理場まで流れて行っているのです。自然流下で流すためには1km行って1m下がる程度の勾配が必要です。平坦だと下水中のゴミや土砂が下水管に詰まってしまうからです。出発が地表であっても、処理場まで10kmあれば下水管の深さは10mになります。川や地下鉄があったりすれば、更に深くなります。あまり深いと下水管の建設費が高くなってしまし、管理も大変です。20m~30mの深さに達したらポンプ所を設けます。そして、いったんポンプで地表まで下水を押し上げて、再び自然流下を利用して先に運ぶ方法を採用します。

これを『中継ポンプ所』と呼びます。

城南島からの下水は二丁

現在は、換気用の建築物を支えるため、箱の内部を5階建てになるように床工事を行っています。また、海側は、鋼管矢板を打設して海水を排出し、11年3月から曳航・沈設が開始される沈埋函を支えるための支承台を構築しています。陸側も、鋼管矢板を同様に打設し水をシャットアウトして、立坑につながる陸上トンネルの基礎工事を行っています。



目にある「城南島ポンプ所」(下の写真。南部スラッジプラントで管理)に集めて砂やゴミを取り、一番高い城南大橋に抱かせてある下水管まで押し上げます。そのあとは自然流下にまかせて、大井埠頭にある八潮ポンプ所まで流し、再びそこを中継ポンプ所として、処理場(森ヶ崎水処理センター)まで運ばれているのです。

下水道局南部スラッジプラント 城南島5-2-1(TEL 3799-1201)



城南島連合会
発行元
新聞委員会
〒143-0024 東京都大田区城南島2-3-8
電話 (03) 3790-8061

1998年(平成10年)
4/30 (第10号)

城南島エコプラントへの産業廃棄物搬入手続きについて

エコプラントの役割は、前号で述べましたが、今回は城南島連合会の皆さんが、当該施設を利用する場合の手続きについて、ご紹介させていただきます。

1.申請資格

Table with 4 columns: 業種別, 資本の額・出資の総額, 従業員数. Rows include 小売業・サービス業, 卸売業, 工業・運送業, などの業種.

2.申請手続

①申請受付場所
東京都清掃局環境指導部産業廃棄物指導課
都庁代表電話 03-5320-5782(ダイヤルイン)

東京都新宿区西新宿2-8-1
東京都庁第二本庁舎9階(北側)
受付時間 月曜日から金曜日
午前9:15~11:30 午後1:15~4:00
エコプラントでも書類受付代行致します。

②申請書類(申請後2週間程度で「搬入資格確認書」が送付されます。

- (1)城南島産業廃棄物処理施設搬入資格確認申請書(用紙は清掃局で交付します)
(2)商業登記簿謄本(法人で申請する場合)
(3)印鑑(法人は代表者印)
(4)運搬車の自動車検査証の写し(自己運搬の場合)
(5)委託する産業廃棄物収集運搬業者の許可証の写し(運搬を業者に委託する場合)

3.処理料金 ...10kgにつき 250円(1トン 25,000円)(内税)

4.詳細についての問い合わせ先
城南島エコプラント
電話 03-3799-0831 有賀、秋山



清掃局の資源循環キャラクター「めぐりん」

見学会レポート(新聞委員会)

■城南島産業廃棄物破碎処理施設の見学会報告

(城南島エコプラント) 新聞委員会 田中 2月17日城南島エコプラントの見学会を行いました。

施設の概要については、「城南島タイムズ」10月31日号で紹介されているので省略しますが、この施設は三多摩を含む東京都内の中小企業より排出される産業廃棄物を破碎処理し、その体積を1/3～1/4にして、中央防波堤外側の新海面処分場(最終処分場)に運び、埋立て地の延命を計ることを目的とした中間処理場で、昨年10月1日より稼働しています。

処理の出来る廃棄物は、廃プラスチック類・金属くず・ガラス/陶磁器くず・ゴムくずですが、従来埋立て地に直接搬入出来なかった冷蔵庫・テレビ・ロッカー等の大型産業廃棄物も搬入出来るとのこと。搬入するには都の清掃局より資格の確認(中小企業者であること)を受け搬入許可の申請をしなければなりません。現在この申請を行うには都庁まで出向く必要がありますが、ここ城南島エコプラントでも申請の受付が代行出来るよう検討中とのことで、是非実現してもらいたい案件です。

搬入・処理出来る廃棄物が4品目に限られており、又、荷姿もバラ積みが原則となっておりますが、個々の事例については相談に乗っていただけとのこと。島内にある施設でもあり、大いに活用したいと思いました。

例え小規模事業であっても環境保全の問題は避けて通る事は出来ません。高い料金を払って収集運搬業者に任せていた廃棄物処理のコストも自己搬入することにより、少しでも軽減出来ればとおもいます。

同プラントでの処理量は稼働開始時の当初計画では1日250トンを見込んでいたそうですが、実際は130トン平均だそうです。各事業所がゴミの減量に努力しリサイクルに努めた結果なのか、長引く景気低迷でゴミの量も減ったのか。まさか処理コストに耐えかねて不法投棄が増えた、とは思いたくはありませんが。

■エコプラント見学会に参加して

城南島エコプラント見学会 アンケート用紙
○近くにこのような施設が有ることは、利用をしなければいけないな?と思いました。

とりあえず稼働しなければいけないということで最低限の設備で運営を開始したようですね。非鉄金属の回収等もっと設備の充実を期待します。

○最後の質問にもありましたが、風による周辺地域へのゴミのトビチリの可能性があるのでは!と思われました。

環境関連の認証取得等で(公的認証による)、地域の方々で納得させる必要があると感じました。

すばらしい施設を見学させて頂き有難うございました。以上

○しくみとか利用にあたっての注意事項などていねいに説明してくれて、いろいろなことよくわかった。

○鉄がどう利用されているか(資源として)(金額的にも)聞きたかった。

○プラスチックも資源化できる技術も実現して欲しい。

○破碎したプラスチックなどが外へ飛散しないよう配慮して欲しい。

■東京水上警察署より

◎東京水上警察署管内、昨年の重大交通事故(重傷以上)は、64%が交差点または、交差点直近で起きています。

交差点の見通しを良くするために

○交差点内及び交差点から5メートル以内

○横断歩道上及び横断歩道前後5メートル以内

○バス亭から10メートル以内

など法定駐車違反を厳しく取締っています。



■城南島駐車場株式会社より

社長 松澤 TEL 3799-1611
城南島の企業にお勤めの皆様毎日御苦勞様です。

2丁目周辺の方については島の中心部にある3角形の空地に駐車場が設置されることになりました。面積は1450坪です。予定では4月より設計に入り、秋口には完成し駐車出来る事

と思います。

近いうちに以前に申し込みのあった企業を訪問し再確認をさせていただくとともにあらたに申し込まれる方の受付をして調整いたしますので協力をお願い致します。

また料金については乗用車1台で月額約15,000円の予定です。

4丁目を中心とした地域については現在工事中の東京港臨海道路の完成を待つ平成13年頃になる予定です。

港湾局にお願ひして一日も早く駐車場が出来ます様努力致しますので引き続き御協力をお願い致します。

■城南臨海工業協同組合より

4丁目の協同組合です
“森の救足”で頑固な足の悩みを解消
水虫、カユミ、悪臭、荒れにすぐれた効果
標準価格¥6,500→特価¥6,000
にて販売しております。

◆足がかゆくて仕事に集中できない方

掲 示 板

◆足の悪臭に悩んでいる方
◆足の皮膚の荒れに困っている方
こんなお悩みを退治できます。
組合事務局 TEL 3799-5626
FAX 3799-5628です。
ご連絡をおまちしております。

■大森消防署より

予防課 竹中 03-3766-0119 (内521)
○自治体消防50年記念
「国際消防防災展'98in東京」の開催について
開催日時 平成10年6月4日(木)から6月7日(日)まで
毎日10時00分から17時00分まで
場 所 江東区有明3-21-1
東京ビックサイト・国際展示場
西1~4ホール、屋上展示場、
屋外展示場
主催者等 東京消防庁・自治体消防庁
(株)東京国際見本市協会
問い合わせ先 広報課 松本
電話3212-2111 内線5420

○訪問業者による悪質な消火器点検
「関西方面で被害が頻発!!」
最近、会社やスーパー、学校、幼稚園など消火器の設置本数が多い防火対象物をねらって、巧妙な手口により消火器の点検や薬剤の

城南島連合会

■交流委員会より 森 隆
平成10年度新年会の反省と来年度へむけてのお願い
城南島連合会の新年賀詞交歓会が去る1月22日(木)大森東急インで開催されました。年に1度の交流の場として意義ある催しとして猪狩会長以下、役員全員の皆様の期待された場造りを受けもたされ私なりにお客様への訪問や会場作りの努力をして来ましたが結果は参加人員57名、その内来賓21名でした。城南島からの出席は36名となります。来賓の皆様の人数の割合から比べれば、城南島の代表の方々の参加人員が、大変少ないのが判ります。収支面でも大巾な赤字でした。非常に残念であると同時に、皆様に反省と一言お詫び申し上げます。

詰替えを行い、時には脅迫的な言動で高額な料金を請求するなどのトラブルが頻発しています。

主に関西方面で発生していますが、すでに東京消防庁管内で未遂事件が発生したとの情報もありますので、次のことに留意して、このような被害にあわないように注意して下さい。

【事例】
相談者=薬品会社・係長
「消火器の点検に来ました」と言って窓口の女性事務員に契約書にサインさせ、消火器32本を集めて持ち帰った。数時間後、消火器を持参し薬剤詰替え代金の支払いを求められたが、不当に高額であったため社内で責任問題となった。
会社の信用問題もあるので、不当な請求を承知の上で支払った。
※請求金額=消火器32本の詰替え 516,000円



てくれるかどうか聞いてください。」と頼みました。

おばあさんがこの申し出を伝えると、尼僧は快く受けてくれました。子どもたちは大喜びでした。みんながミルクを飲み終わると、尼僧は「ご馳走してくださった方がどなたかわかりませんので、賛美歌を歌ってお礼に代えましょう」と言って、四十人の子どもたちが声を張り上げて賛美歌を歌いました。それはそれは、実にかわいらしい歌声でした。稲造は、お母さんの命日にふさわしいことができたと感じ、心がとても満たされました。

子どもたちが帰ったあと、支払いをしようとすると、牛乳売りのおばあさんは半額しか受け取りませんでした。

その訳をたずねると、「今日、あなたが孤児たちにご馳走してくださったことを、私もたいへんうれしく思いました。私も日頃そうしてあげたいと思っていましたが、なにぶん商売上、思うようにできませんでした。けれども、せめて今日の支払いは実費だけにしてくださいませ結構です」と答えたのでした。

この話は、自分がたまたま出会った人々との縁を大事にして自分のできることをしていく、という好例ではないでしょうか。稲造の子どもたちへの温かい気持ちは、牛乳売りのおばあさんと尼僧の心を動かし、ともに稲造の好意を喜んで受け入れたのでした。三人のやりとりの中には、子どもたちへの深い慈しみが感じられます。そこには、相手を生かし、自分も生かしていくことによって得られる「支え合う喜び」が感じられます。他者のことを自分のことのように感じられる心、まなざしがあったからこそ、このように自然な行動ができたのだと思います。



読者の声

■城南島の環境問題

株式会社奈良機械製作所
技術開発部 大村 幸正

島の入り口には野鳥公園と太田市場、海上には羽田空港を望む城南島は、キャンプ施設を備えた海浜公園もあり、環境の整ったウォーターフロントというイメージを持たれても不思議ではない。事実城南島海浜公園でキャンプをしてみれば、東京湾を往来する船舶や羽田空港の灯りがロマンティックなムードを醸し出し、朝焼けもたいそう美しい。しかし、美しい日の出を堪能して帰路につこうとすると情景は一変する。航空機や大型トラクターの従来によってもたらされる騒音や振動。路上駐車が多く、通りにくい道路。また、道路脇の緑地帯には、車上からのポイ捨てによる

空き缶、PETボトルや弁当箱が散乱している。未整備の空き地には、家具や家電製品、廃タイヤ、バッテリー等の粗大ゴミや有害ゴミが不法投棄されている場所さえある。

このような状況を鑑みて、当社では昨年の創立記念日(11月11日)にボランティア活動と称し、城南島の清掃作業を実施した。この試みは社員からの提案により実現したものである。総勢150名、僅か1時間足らずという作業時間ではあったが、空き缶や小型のPETボトル、弁当箱や雑誌など、開始15分後には区の環境保全課からもらっていった1人1袋分程度の回収袋がなくなってしまう、担当社員が追加補充に奔走するほどであった。

正直なところボランティア活動企画当初は、各職場で不平や不満の声があがっていた。し

かし、いざ始めてみると手を抜くことが出来ず、額に汗しながら社長や役員を含む全社員が一丸となって清掃作業に取り組む姿は、素直に美しい光景であった。また、作業の後の海浜公園でのビールは、最高に美味しかった。今回の清掃作業が、城南島に進出した企業への環境保全活動の広がりへのきっかけとなることを期待したい。

最近オフィス町内会によるOA古紙のリサイクルや工業地帯におけるゼロエミッション(廃棄物ゼロ)構想など、複数の企業が共同で環境問題に取り組むケースが増えている。しかもこれらは大企業が中心となっている。1社では難しいことでも複数の企業が集まれば解決できる事も多い。また行政主導ではないという点は見習うべきものがある。城南島に進

出している企業は殆どが中小企業である。大企業が共同しているのであれば尚更のこと、我々は団結する必要があるのではないだろうか。清掃作業に限らず、「クリーンアイランド城南島」等の環境問題に取り組む姿勢をアピールする看板の設置、未整備となっている空き地の整備や有効利用などできる事はたくさんある。重要なのは、城南島は地域をあげて環境問題に取り組んでいる、ということを感じることである。「沈黙は金」という言葉は全く通用しないと考えるべきだ。環境管理システムの国際規格ISO-14001でも環境方針の公表を義務づけている。また世はまさにインターネット(情報発信)の時代、自主性を持ち、外部に向けて情報発信できない企業は通用しない時代である。

戦時中の隣組制度を奨励するつもりはないが、各企業が「格子戸開ければ顔なじみ」という関係を築くことが城南島の環境をより素晴らしいものにする近道であると考ええる。この考え方は、城南島に進出した企業の多くが関する協定書」にも即している。

追記: 行政への提案
ボランティアによる清掃作業を行ったおり、行政の側にはまだまだボランティア活動を支援する体制が整っていない、ということを感じた。清掃作業を実施するにあたっては、東京都清掃局の大森清掃事務所と大田区の環境保全課の双方との調整が必要であったが、役所間で連絡を取り合ってもらえないため、好意でボランティアをする側の負担が大きか

った。
昨年はちょうど「清掃で美しい大田区をつくる条例」が施行された年であった。せっかくの市民の気持ちを消沈させたくないよう、窓口の一本化等、ボランティア活動を円滑に支援する仕組みを構築してもらいたい。

編集後記

城南島タイムズは、読者の声欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

(財)東京港埠頭公社
城南島連合会新聞委員会